

生物多様性と浄化作用「藻場」

○藻場とは

藻場とは、沿岸域の海底で様々な海藻・海草が群落を形成している場所です。



▲アマモ場(海中)



▲アマモ場(海面)

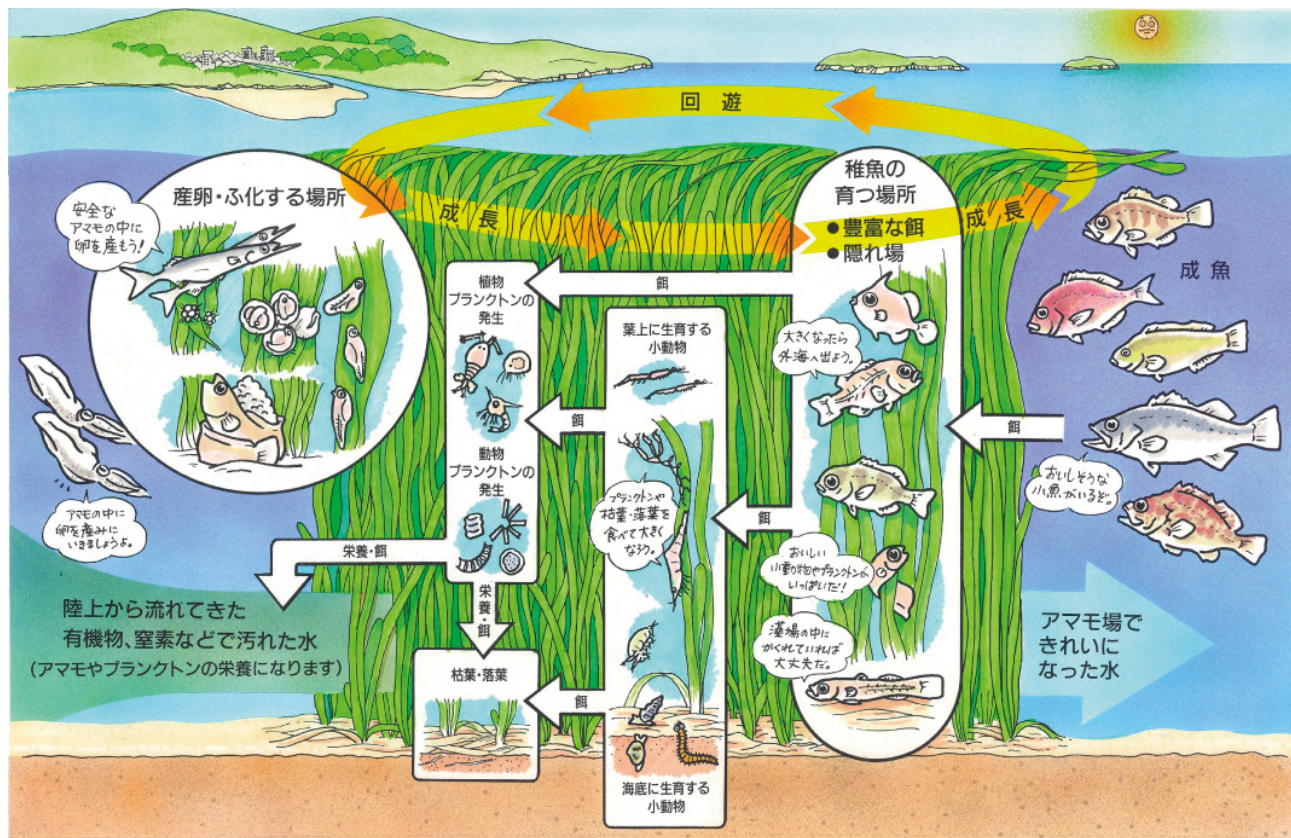


出典：環境省：日本の干潟、藻場、サンゴ礁の現況 第2巻(藻場) 1995 データを基に作成
提供：伊勢湾環境データベース

藻場は、波や潮の流れが弱く隠れ家になる物陰があり、葉の表面にくっついた葉の間を好む小動物がたくさんいるため、魚・エビ・カニ・貝などの赤ちゃんや子供達の絶好の生育場になります。また、干潟と同じように栄養を吸収して育つため、浄化の働きもあります。

伊勢湾のアマモ場は、埋立、土砂の流入、海水の濁り、農薬の使用、アサリ貝の採集などによって消失が進み、保全の重要性が増しています。

○藻場の役割



○藻場で育つ稚魚たち



▲アユの子ども



▲メバルの子ども



▲タイの子ども